※令和４年度以降入学生用

学校番号	3021

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版　新編　生物基礎　（数研出版）						
副教材等	改定　三訂版　リード Light 生物基礎　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物基礎では、用語を覚えるだけでなく、観察や実験の結果から「なぜそうなるのか」を考えることが大切です。授業では、教科書・ノート・資料を活用し、自分の言葉で説明することを意識しましょう。日常生活や社会の出来事と結び付けて学ぶことで、理解がより深まります。

2　学習の到達目標

生物や生命現象に関わり，生物学的な見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，生命現象を科学的に探究するために必要な資質・能力が身に付いているかを，次の観点から捉える。
(1) 生物の多様性と共通性，生命活動の基本的な仕組み及び生物と環境との関わりについての理解を深め，生物学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けているか。
(2) 観察，実験などを行い，生命現象や生物と環境との関係について，生物学的な見方・考え方を用いて考察し，その過程や結果を適切に表そうとする力を身に付けているか。
(3) 生物や生命現象に進んで関わり，生物学的に探究しようとする態度を身に付けるとともに，生命の尊重や生物と環境との関わりに対する興味・関心を高めているか。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物の多様性と共通性，生命現象の基本的な仕組み及び生物と環境との関わりについての理解を深め，生物学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基礎的な知識及び技能を身に付けている。	観察，実験などを行い，生命現象や生物と環境との関係について，生物学的な見方・考え方を用いて科学的に探究し，その過程や結果を適切に表そうとする力を身に付けている。	生物や生命現象に進んで関わり，生物学的に探究しようとするとともに，生命の尊重や生物と環境との関わりに対する興味・関心を高め，主体的に学習に取り組んでいる。
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　生物の特徴	生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝 呼吸と光合成	a：生物の多様性と共通性、エネルギーと代謝、呼吸と光合成について、基本的な概念や仕組みを理解し、観察・実験に必要な基礎的技能を身に付けている。b：観察・実験結果や資料を基に、科学的に考察し、その内容を適切に表現することができる。c：生物や生命現象に関心をもち、課題解決に向けて主体的かつ粘り強く学習に取り組もうとしている。	確認テスト 中間考査	確認テスト 中間考査	ワークシート 発言・発表，観察等
	第2章　遺伝子とその働き	遺伝情報と DNA 遺伝情報の複製と分配	a：DNA の構造や塩基の相補性、遺伝情報としての役割を理解するとともに、遺伝情報が正確に複製・分配される仕組みを理解している。b：資料や模式図、観察結果を基に、遺伝情報の複製と分配の過程を科学的に考察し、その内容を論理的に説明することができる。c：遺伝情報の仕組みに関心をもち、観察・実験や課題に主体的かつ継続的に取り組もうとしている。	確認テスト 期末考査	確認テスト 実験レポート 期末考査	ワークシート 発言・発表，観察等
2学期	第2章　遺伝子とその働き	遺伝情報の発現	a：DNA の遺伝情報を基にタンパク質が合成される仕組みや、細胞ごとに発現する遺伝子が異なることを理解している。b：資料や模式図を基に、転写・翻訳の過程や遺伝子発現の違いについて科学的に考察し、その内容を適切に説明することができる。c：遺伝情報の発現に関心をもち、学習課題に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト 中間考査	確認テスト 中間考査	ワークシート 発言・発表，観察等
	第3章　ヒトの体内環境の維持	体内での情報伝達と調節 体内環境の維持の仕組み 免疫のはたらき	a：自律神経系や内分泌系による情報伝達と調節、体内環境が一定に保たれる仕組み、免疫の基本的なはたらきを理解している。b：資料や実験結果を基に、体内環境の変化と調節の仕組み、免疫反応の特徴を科学的に考察し、その内容を適切に説明することができる。c：体内環境の維持や免疫に関心をもち、学習課題に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト 期末考査	確認テスト 実験レポート 期末考査	ワークシート 発言・発表，観察等

※令和４年度以降入学生用

３学期	第４章　生物の多様性と生態系	植生と遷移 植生の分布とバイオーム 生態系と生物の多様性	a：自律神経系や内分泌系による情報伝達と調節、体内環境が一定に保たれる仕組み、免疫の基本的なはたらきを理解している。b：資料や実験結果を基に、体内環境の変化と調節の仕組み、免疫反応の特徴を科学的に考察し、その内容を適切に説明することができる。c：体内環境の維持や免疫に関心をもち、学習課題に主体的に取り組もうとしている。	確認テスト 学年末考査	確認テスト 演習レポート 学年末考査	ワークシート 発言・発表，観察等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度